

## 第1回 平成22年7月梅雨前線豪雨内水対策検討会 議事要旨

### 日時

平成22年8月12日（木）13時～15時

### 場所

太田川河川事務所3階会議室

### 出席者

広島県土木局土木整備部 泉谷河川課長

河川課 武田主任主査

河川課都市河川整備グループ 畠山主任主査

広島県西部建設事務所 吉原次長、北山事業調整員

広島市道路交通局 菅原河川課長

河川課 三宅係長、麻生主任技師

広島市下水道局計画調整課 山口計画担当課長、宍戸課長補佐

広島市消防局危機管理部 斉藤防災課長

防災課 加藤主査

太田川河川事務所 阿部事務所長、河野副所長、佐藤副所長、國光管理第一課長、野元工務第一課長、田中調査設計第一課長

### 議事

- (1) 検討会の進め方について
- (2) 平成22年7月梅雨前線豪雨による内水被害の状況について
- (3) 短期的な対策について
- (4) その他

### 議事要旨

#### <規約について>

- ・ワーキンググループでは実務者レベルの検討を行うため、区役所等が参加できるよう、ワーキンググループにおいても必要に応じて構成員以外の者の出席が求められるよう、規約を修正する。
- ・資料と議事要旨は、太田川河川事務所のホームページに掲載することとし、各機関のホームページからはリンクを張る等で対応することとする。
- ・公表はある程度まとまった時期に行うが、地域住民の方々へのフィードバックの方法、時期については別途協議の上進める。

#### ＜検討会の進め方（案）について＞

- ・地域の住民の方々の御意見を検討会に反映させるため、それぞれの地域に即した方法で意見を聴くこととする。

#### ＜平成 22 年 7 月梅雨前線豪雨による内水被害の状況について＞

- ・矢口川及び新安川の内水被害について太田川河川事務所及び広島県が説明
- ・今後の検証に向け、流域にある調整池等施設の状況について情報整理が必要。
- ・今後、検証結果を踏まえ、各機関において内水対策を検討することとする。

#### ＜短期的な対策について＞

- ・早期にできる対策として、排水ポンプ車の早期配備の体制確立、情報伝達の充実化、早期の燃料補給の体制確立を行う。
- ・中国地方整備局の排水ポンプ車は他の地域にも必要となることもあるため、中国技術事務所の排水ポンプ車の派遣についても早めに出動を要請する。